



秋晴の候、平素は本校教育活動の推進にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、6月末～7月にかけて、第1回学校アンケートを実施いたしました。アンケート内容については、花山中学校ブロック3校（花山中・陵ヶ岡小・鏡山小）で統一した項目（初めの6つ）と本校の学校教育目標や目指す子ども像に即して学習面や生活面を振り返る項目を設定しております。学校・児童・家庭が協力し合い、よりよい子どもたちの学びや成長につなげていけるよう年に2回実施しております。アンケートの結果から、現状や対策をお伝えし、今後の鏡山小学校の学校教育に活かしていきたいと考えております。お忙しい中、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

<学校教育目標> 自ら学び 心豊かに 未来を拓く子

目指す子ども像「自分も友達も大切にする子」「成長しようとする子」

<自ら学び> 【主体的に取り組む力】知ること、気づくこと、発見することの喜びを感じる子

【学びに向かう力】チャレンジ精神をもって、いきいきと粘り強く取り組む子

<心豊かに> 【自らの心を育てる力】共感する心・感動する心奮い起こす心をもつ子

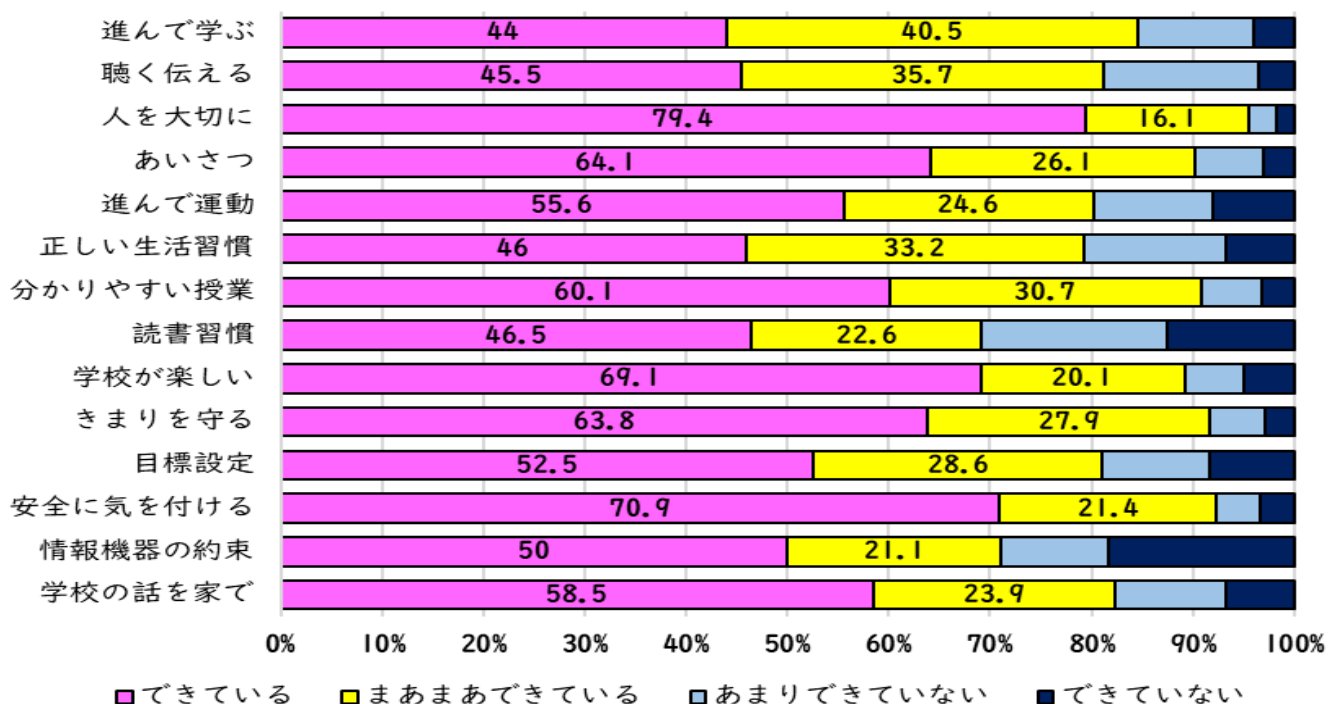
【自他を大切にし自ら律する力】相手の立場を理解し、自分と人とのつながりの中で、時と場に応じた正しい判断と行動ができる子

<未来を拓く> 【実践的判断力】学びを活かし、行動する子

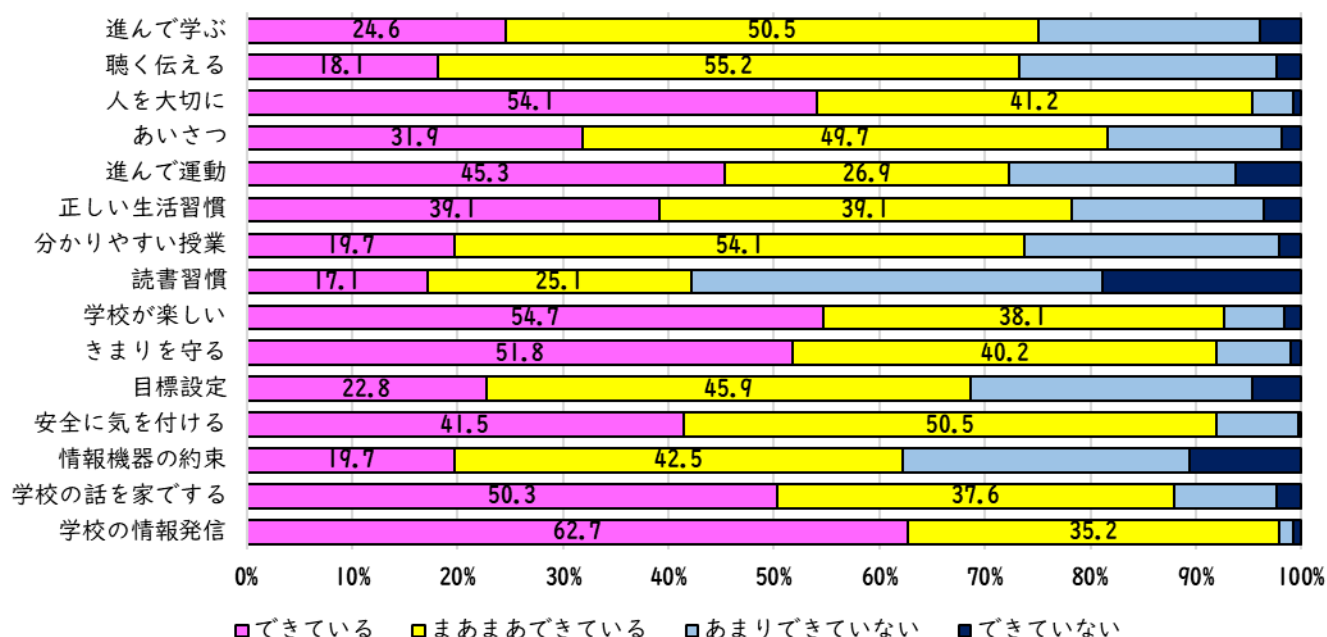
【自己実現を果たす力】未来を創造し、たくましく生きる子

表の見方：各項目左はし口から「できている」「だいたいできている」「あまりできていない」「できていない」（数字は％）。「できている」「だいたいできている」を合わせて「できている」として結果をみていきます。

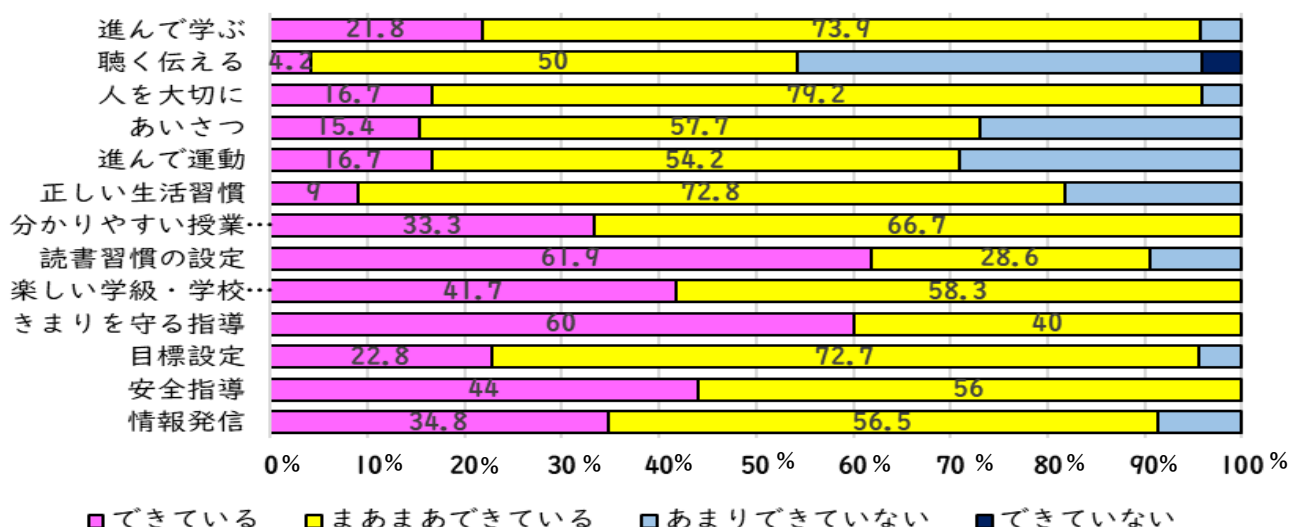
児童



保護者



教職員



<児童・保護者・教職員のアンケートの結果から>

○3者とも「人を大切にする」「きまりを守る」「安全に過ごす」の実現度が90%を超える高い結果になっています。本校児童の強みや良さと考えられます。「人を大切にする」「安全に過ごす」は例年高い結果でしたが、昨年度の第1回より「きまりを守る」が高くなっていました。

今年度新たに付け加えた目指す子ども像「自分も友達も大切にしようとする子」<未来を拓く>【実践的判断力】学びを活かし、行動する子に育っていると言えます。ご家庭と同様、学校でも引き続き、子どもたち一人一人を大切にしながら学習を進めていきます。また、安全ノートによる安全指導や避難訓練を通して安全に安心して過ごせる学校づくりをしていきます。

<児童・保護者・教職員のアンケートの結果から>

○児童の回答で90%を超えたものに「分かりやすい授業」がありました。授業は学校生活の大半を占めています。学習の中で、児童の「分かった。」「楽しい。」「もっと知りたい。」につなげ、<自ら学び>【主体的に取り組む力】知ること、気づくこと、発見することの喜びを感じる子を育てていきたいと思っています。

△情報機器について（ゲーム・TV・インターネット・動画視聴など）を決めているかについては、児童は80%、保護者は70%を下回り、例年低い結果となっています。

現在、様々なツールを使った情報発信がされています。テレビ・スマホ・ゲームなど子どもたちの周りに情報がたくさんある中、どのように情報を選択し、判断するのが大切です。<心豊かに>【自他を大切にし自ら律する力】相手の立場を理解し、自分と人とのつながりの中で、時と場に応じた正しい判断と行動ができる子の育成を目指します。



対策 児童への情報モラルの指導・保護者教職員の情報モラル講座

学校でも情報モラルの学習を進めています。各教科の中でも情報に関わる学習もあります。受け身になるのではなく選択・判断できる力をつけていきたいと考えています。

また、今年度は休み時間のタブレットの使用について見直しました。これまで、休み時間の使用については遊びになるような使い方が多かったので、基本的には「使用しない」としています。学習としてのタブレット活用をしていきます。

時間を決める・フィルタをかける・誰とでもネットにつながらない等、各家庭に応じた約束を是非この機会にご家庭でも話し合っていただければと思います。**9月の授業参観後に、京都府警サイバー企画課と連携して保護者・教職員の講座を実施します。ぜひご参加ください。**

△読書習慣については、児童・保護者ともに低い結果となっています。

今年度も昨年度に引き続き、低い結果にはなっています。読書は<心豊かに>【自らの心を育てる力】共感する心・感動する心奮い起こす心をもつ子・を育てていくと考えています。



対策 ①図書館活用 ②委員会活動と連携 ③読書ノート持ち帰り

学校では、定期的に図書館を活用するなどしていますが、さらに本を手にとる機会を増やす・本を読む楽しさを知るために図書委員会とも協力しながら取組を進めています。

昨年度から読書ノートを月に1回持ち帰ることを始めています。どれだけ本を読んでいるか記録した読書ノートをお家でも確認してください。また、図書委員では、月に1度程度低学年向けに「おはようかみしばい」の読み聞かせを始めました。PTAの読み聞かせサークル「クローバー」さんの読み聞かせも子どもたちに人気です。

ご家庭でも読み聞かせをしたり、子どもたちと本の話をしたりする機会をつくっていただければと思います。

※アンケート回答率について

最終的なアンケートの回答率は90%でした。ご協力いただきありがとうございました。アンケートの主旨をご理解いただき次回第2回学校アンケート(11月末～12月)にもご協力お願いいたします。

本校の学校運営協議会理事会に学校関係者評価としてご意見をうかがいました。

<学校運営協議会理事会とは>

「学校教育目標」や「目指す子ども像」等をはじめとする「学校運営の基本方針」を承認するとともに、学校や子どもたちが抱える課題を解決するための方策を議論する組織です。

<今回の学校アンケートについて>

- ・安全については、地域でも自転車で危険と思うことがあるので、ヘルメットをつけてより安全に自転車に乗ってほしい。
- ・大人も本を読む機会が少ないので、1つの本を共有して読書する機会をもてるといいのではないかな。
- ・スマホ脳というのが一時話題になったが、デジタル機器は寝る前にみていると寝られなくなってしまう。そういう時こそ、本を読む生活習慣をつけるのもいいと思う。
- ・読書習慣や情報機器の約束とつなげて「聴く・伝える」ことも大切だと感じる。スマホや動画などで、情報を受け流すことが多い、読書の中で「問いと答え」を知ったり語彙を増やしたりすることが少ないことも影響しているように思う。
- ・たくさん話したい!伝えたい!という子どもたちを色々な場面で受けとめていきたいと思う。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。